

NEWS RELEASE

IoT 活用によりモノづくりの変革に貢献

日立製作所・インテルと共同提案の「製造業向け IoT テストベッド」を IIC が承認

三菱電機株式会社は、工場内の IoT (Internet of things) 活用を広く推進するため、米インダストリアル・インターネット・コンソーシアム (Industrial Internet Consortium、以下 IIC^{*1}) に株式会社日立製作所 (以下、日立) とインテル株式会社 (以下、インテル) と共同で提案したテストベッド^{*2} がこのたび承認されたのでお知らせします。

※1 Industrial IoT の実現を加速するための国際規模の普及機関

※2 Factory Automation Platform as a Service (FA PaaS) Testbed

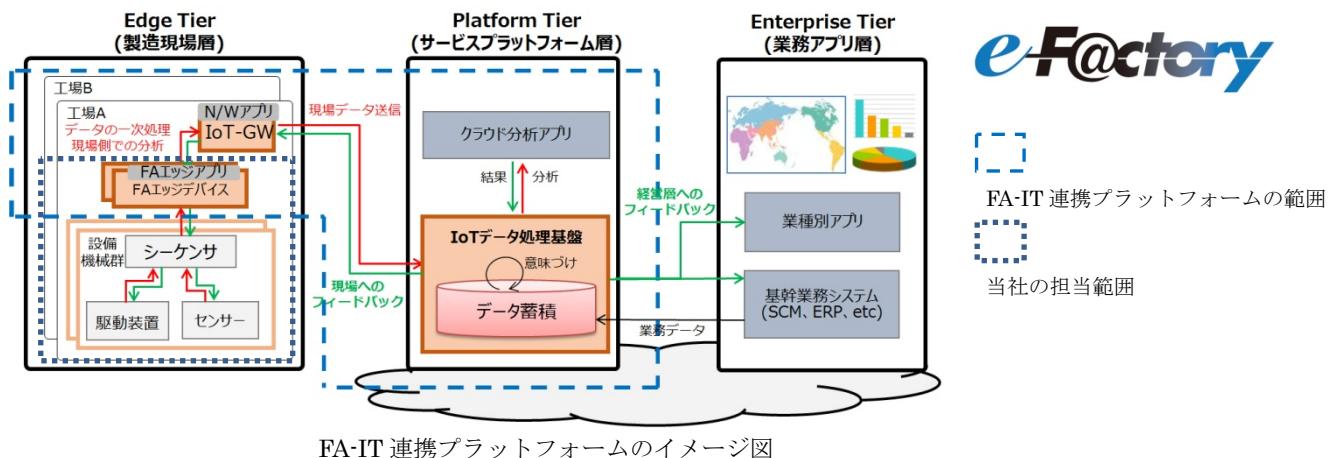
共同提案の背景

近年、グローバル競争が激化する中、製造業においては、急速に変化する市場環境に迅速に対応するため、新技術の導入・企業間連携などによるタイムリーな製品開発や市場投入に加え、品質・納期・生産性の向上が求められています。また、IoT を活用して製造現場と経営中枢を結ぶことで、サプライチェーンのグローバル化に対応した経営の最適化を実現するシステム構築への期待が高まっています。

テストベッドの内容

今回のテストベッドでは、製造現場 (FA) と情報システム (IT) をシームレスに統合するオープンな FA-IT 連携プラットフォームを 2017 年 6 月までに検証します。当社は従来から進めてきた FA 統合ソリューション 「e-F@ctory (イーファクトリー)」 の IoT 対応を強化すべく、製造現場のデータを現場で分析・一次処理する FA エッジデバイス・アプリケーションの開発と、シーケンサ・駆動装置等の FA 関連製品を担当し、日立と IIC 幹事会社であるインテルは IoT ゲートウェイ (GW) やクラウド等の IT 関連製品を担当します。

今後、これらの製品を接続した FA-IT 連携プラットフォームのセキュアな通信と業務データの流れの検証を経て、FA-IT 連携プラットフォームを IIC 会員企業やお客様に提供し、アプリケーション開発の容易性を検証します。



今後の展開

当社は、「製造業向け IoT テストベッド」を通じて検証するプラットフォーム技術に加え、膨大な現場データから目的データを効率的に収集する仕組みを日立などさまざまな企業と共同で検討していきます。また、それらの技術を各業界団体・標準化団体等に広く提案するとともに、e-F@ctory Alliance パートナー^{*3} とソリューションを共創してお客様に幅広く活用いただくことで、生産性・品質の向上や安定稼働など、モノづくりの変革に貢献します。

※3 e-F@ctory を提供するため、システムインテグレーション・ソフトウェア・機器の各分野で、豊富な経験と技術を有するパートナー

e-F@ctory（イーファクトリー）について

当社は、卓越した技術と幅広い FA 製品のラインアップにより、長年にわたり製造業の自動化の発展を支えてきました。こうした技術を基に、FA 技術と IT 技術を活用し、開発・生産・保守の全般にわたるトータルコストを削減する FA 統合ソリューション「e-F@ctory」を提唱し、e-F@ctory Alliance パートナーと共に、お客様の課題解決に向けたトータルソリューションを提供します。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 FA システム事業本部
e-F@ctory 戦略プロジェクトグループ
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
TEL 03-3218-6479 FAX 03-3218-6819